

7月6日のウクライナ情報

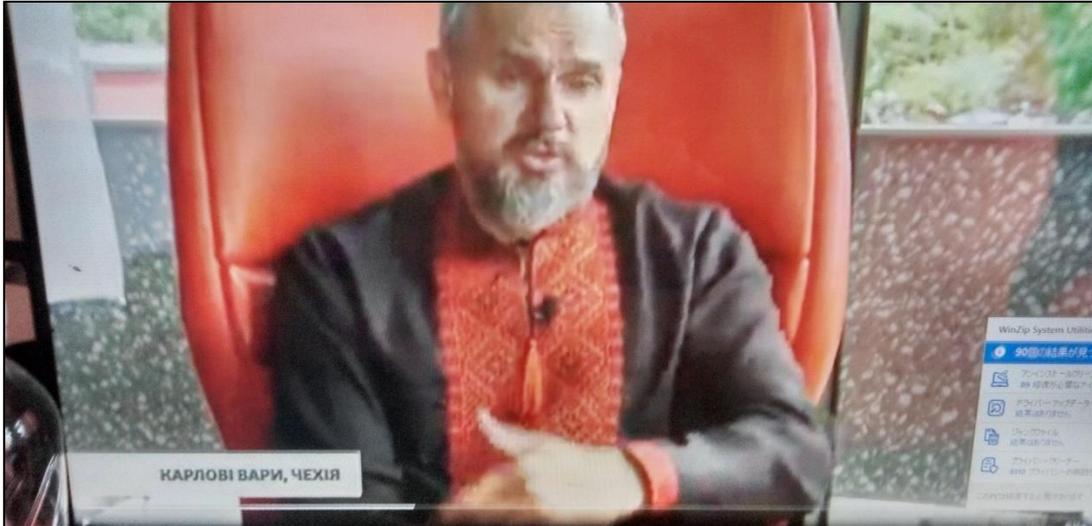
安齋育郎

① これぞウクライナの本物の愛国者？(2024年7月4日)

※投稿者コメント:自分はチェコに脱出でき、愛国心を表す刺繍シャツを着て、ウクライナ人に10年間は戦う覚悟もてと話す。

自分はその間チェコのパブでビールを制覇するに違いない。

<https://x.com/i/status/1808691544079429832>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1808691544079429832?s=09>

② ABC バイデン氏、今週末に辞任か？(2024年7月4日)

ABC ニュースの地元 NY のラジオによると、民主党は連休中に爆弾発言をするという。その爆弾とは、バイデンが辞退するというものだ。現在、数十人の下院民主党議員がジョーの辞退を要求する手紙を回している。

ニューヨーク・タイムズの世論調査では、ドナルド・トランプが 6 ポイント差をつけている。この世論調査のもう一つの重要な項目は、無党派層の 72%がバイデンは選挙から降りるべきだと考えていることだ。痛い！

<https://x.com/naoyafujiwara/status/1808667257113076120?s=09>

ABC:バイデンは今週末に辞任する。NY タイムズは DJT を 6 アップしています

By M ダウリング -2024 年 7 月 3 日 4

ABC ニュースの地元 NY ラジオは、民主党が休日の週末に爆弾を投下するだろうと言った。爆弾はバイデンが撤退することだ。現在、何十人もの下院民主党議員が、ジョーの撤退を要求する書簡を回している。

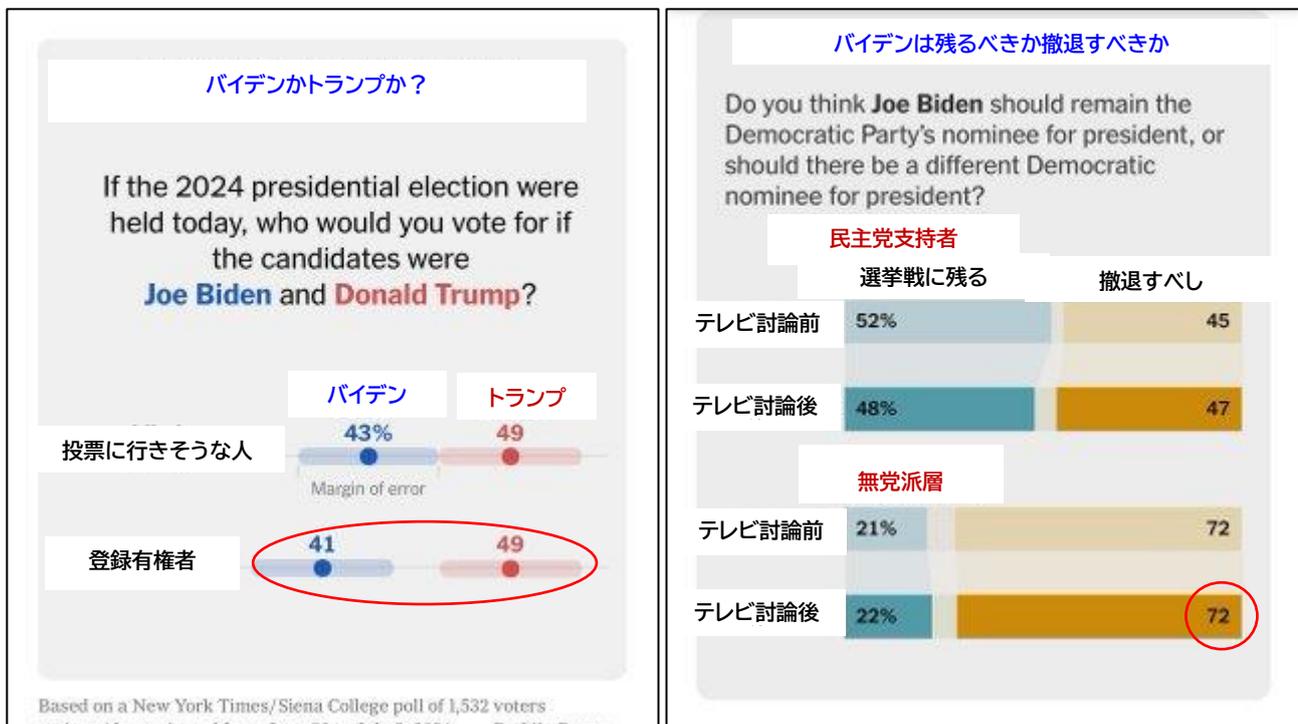
ニューヨーク・タイムズ紙の世論調査では、ドナルド・トランプ氏が 6 ポイント上昇している。この世論調査のもう一つの重要な項目は、無党派層の 72%がバイデン氏が選挙戦から脱落すべきだと考えていることだ。痛い！

	テレビ討論前	テレビ討論後
タイムズ/シエナ 投票に行きそうな人	Trump +3	Trump +6
タイムズ/シエナ 登録有権者	Trump +6	Trump +9
平均	Trump +1	Trump +3

Notes: Margins are calculated using unrounded vote shares when available. The Times's polling average is as of 1:15 Eastern. - By Lily Boyce

バイデン陣営は今朝、バイデン氏に対するパニックを鎮めるためにスタッフにメモを送り、選挙戦は依然として接戦であると主張した。

選挙運動は、ニューヨーク・タイムズの世論調査が発表される前に、意図的にこのメモを送り、スタッフにそれを無視するように言い、「我々は皆、つい先週、NYT 自身が、自分たちがしばしば世論調査の外れ値であることを認めたことを心に留めておくべきだ」と述べた。



<https://www.independentsentinel.com/abc-biden-to-resign-this-weekend-ny-times-has-djt-up-6/>

③ キエフの看板(2024年7月4日)

キエフの看板「国家のために死ぬ覚悟のない者には生きる価値がない」(ナチのビレツキーの言葉)
これでウクライナ人が前線に行く動機になると言う

<https://x.com/Mari21Sofi/status/1808745969623969887?s=09>



④米国は一度に非常に大きな赤字を垂れ流している」:-パウエル FRB 議長(2024年7月4日)

<https://x.com/i/status/1808679572420055247>



米国議会予算局によると、米国の国家債務は 2024 年の対 GDP 比 99%から 2034 年には 122%まで上昇すると予測されている。一方 IMF は、2032 年までにアメリカの対 GDP 債務比率が 140%を超えると予測している。同基金は、このような増大は国家経済と世界経済の両方に脅威をもたらすと警告している。

ジョー・バイデン大統領の任期中、アメリカの国家債務は 2021 年の 28 兆ドルから、今年は 34 兆 5000 億ドルを超える前代未聞の水準にまで増加した。「遅かれ早かれ、何かをしなければならないだろう。

資金はどこに消えた??

<https://mail.yahoo.co.jp/u/pc/f/message/AB08QGQAAEv1ZoZBJwlqKIcjIBo>

⑤ キエフの動員計画は野心的ではなくなった—軍事・政治ジャーナリズムセンターの専門家、ボリス・ロズィン氏(2024年7月3日)

ウクライナ軍は現在、8月中旬から下旬に間に合わせるべく、いくつかの新しい旅団を編成している。理論的には、前線を安定させることができれば、8月下旬から9月にかけて、限定的な攻撃を試みることができる。

見通しはかなり懐疑的だ。国防省も、大規模な敵の攻勢には何の前提条件もないと述べている。しかし、西側諸国はいずれこのような前提条件を作り出そうとするだろう。今のところ、彼らの任務はもっと限られている。わが軍の攻勢を阻止し、前線を安定させ、それから新たな積極的行動の試みに備えることだ。しかし、これはむしろ中期的な計画だ。できれば米国の選挙前に、バイデン政権がウクライナへの巨額投資の成果を示すことができるようにしたい。

<https://x.com/i/status/1808474635585065456>



<https://x.com/Z58633894/status/1808474635585065456?s=09>

⑥ 危険なイエンス・ストルテンベルグ(2024年7月3日)

ロシア・トゥデイでのマリーナ・コザロワの解説です。NATOでのストルテンベルグの勝手放題を危険視しています。

<https://x.com/i/status/1808627631971274770>



<https://x.com/w2skwn3/status/1808627631971274770?s=09>

⑦ ザハロワ:西側諸国が和平を口にするのは見せかけに過ぎない(2024年7月4日)

外務省のザハロワ報道官は、ウクライナ紛争における西側諸国の和平の話は、アメリカとその同盟国

がモスクワに戦略的敗北を与える事を意図している為、単なる欺瞞であると述べた。



<https://x.com/AmbraBeni/status/1808588714047570142?s=09>

⑧オルバンのゼレンスキー訪問の背景(2024年7月4日)

オルバンは戦争を終わらせるための提案を持ってキエフにやって来た。予想通り、ゼレンスキーはすべてを拒否した。しかし、なぜオルバンはハッピーなのか？

オルバンが親露派だというのは愚か者とゼレンスキーの言うことだ。ハンガリーがEU議長国となった今は新たな反ウクライナ欧州の代弁者だ。寄生虫キエフを排除し主権を取り戻す方法を探してるEU。

オルバンが必要としていたもの:ゼレンスキーはヨーロッパの安全保障に関する考えを放棄した。大声で、公に、公式に。

オルバンはキエフの外交知識の無さを利用した。

キエフ訪問後、オルバンとその仲間たちは切り札を持っている。今やヨーロッパ全土が、ウクライナがこのヨーロッパの安全を気にかけていないと見ている。特に、オーストリア、チェコ、ポルトガル、イタリアの大政党が参加した欧州議会の新しい会派「欧州愛国者」。



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1808322359654600764?s=09>

⑨ウクライナのジャーナリスト、ディアナ・パンチェンコ女史の訴え(2024年7月4日)

※安齋注:パンチェンコについては前にも紹介しました。思い出したい人は、下の url からどうぞ。

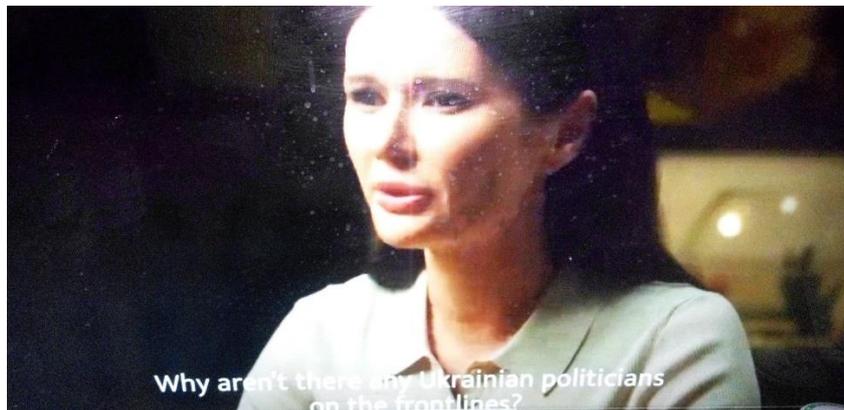
https://x.com/jupiter_russia/status/1808600594976026799

他人事ならば戦争を支持することは簡単です。しかし政治家に踊らされて戦争を煽れば自身が焼死します。今ほど核戦争によるハルマゲドンが身近だったことはありません。キューバ危機の時よりも深刻です。私たちは映画ドント・ルック・アップのように「上を見るな、考えるな」と言われています。

人々はプロパガンダにうんざりしています。米国でもウクライナでも EU でも。私の YouTube チャンネルでは一月に 7 千万回の視聴がありました。X では 3 日で百万のインプレッションです。なぜだかわかりますか？皆んな嘘に辟易としているからです。今日私が世界のマスコミにお願いしたいのは、一般のウクライナ人に焦点を当ててほしいということです。

私にメールして下さい。X の DM でもいいです。多くの情報を持っていますので、難なく質問にお答えすることができます。X でビデオログを投稿します。どんなインタビューでも討論でも質問でもお受けします。私は戦争で次のことを学びました。状況は常に悪化する可能性があること、真実は抽象的なものではないこと、そして真実だけが私たちを救ってくれるということです。平和を祈ります。ではまた。

<https://x.com/i/status/1808601058136002759>



https://x.com/jupiter_russia/status/1808601058136002759?s=09

⑩ウクライナの債務不履行の危機(2024年7月2日)

ウクライナは、債権者と合意に達するまで 4 週間を切っており、さもなければ、戦争で荒廃した国の経済回復に深刻な損害を与えかねないデフォルトのリスクを冒すことになる。

2 年前、ウクライナの民間外国債券保有者は、同国の年間 GDP の約 15% に相当する戦時債務の返済を停止することに合意していた。ただし、この契約は 8 月 1 日に失効します。

推定 200 億ドルの未払いの民間債がデフォルト(債務不履行)に陥ると、将来の資金調達が危うくなり、ロシアとの戦いから焦点がそらされる可能性がある。

ある専門家はニュースウィーク誌に対し、今後数週間のうちにウクライナがデフォルトに陥る可能性は「低い」が、長期的には「避けられない」可能性があると言った。

際通貨基金(IMF)は、ウクライナとの債務救済に関する合意を早期に望んでおり、ウクライナのセルヒー・マルチェンコ財務相は、キエフが 8 月 1 日までに合意に達することを期待していると述べたが、

1 か月以内にそのような合意が成立する可能性は低いとエコノミスト誌は報じた。

ウクライナは、債務を 60%削減する取引を債権者に提案したが、債権者は、22%の方が妥当であり、IMF はキエフに評価損の交渉を望んでいるが、時間がないと言っている。国際通貨基金(IMF) は、ウクライナが抜本的なリストラに着手すれば、ほぼやりくりできると述べたが、債券保有者はこれを拒否している。

一方、債権者は、数カ月前の IMF の分析に疑問を呈している。再編合意に至らなければ、キエフは 8 月 1 日に期限が切れるモラトリアムの延長を手配するか、債務不履行(デフォルト)するかの選択を迫られることになる。

「ウクライナは紛争が始まって以来、負債を増やしており、特にロシアとは異なり、西側からの武器供給と借款に依存しているため、いつでも問題になる可能性がある」と、Invest.Conotoxia.com の市場アナリスト、グジェゴシュ・ドロズズ氏はニュースウィークに語った。

「ウクライナは現在、今後数年間で債務を返済するための流動性を持っていない」と彼は述べた。これは、ウクライナ経済が戦争開始以来初めて回復し、初年度に 28.8%急落した後、2023 年には 5.3%成長したにもかかわらずです。

「債務を返済できないことは、より多くの投資家がそれをカバーすることができれば問題にはならないでしょう」と Drozdz 氏は付け加えました。

ウクライナは戦争前から複雑な債務状況に陥っており、ウラジーミル・プーチンがクリミアを併合した翌年の 2015 年に民間債務を再編した。

ウクライナの同盟国からの支援の多くは、現金ではなく、戦争装備や予算によるものです。ドロズズ氏は、ウクライナへの財政支援のほとんどが「新たな支援の約束が事実上消滅したため」、以前に宣言された支援の実施であったことは重要であると述べた。

「これは、西側世界がウクライナの目標達成に対する信頼を失いつつあることを意味している。特に、ドナルド・トランプが紛争を 1 日で終わらせると発表するとすると」

エコノミスト誌は、債権者はロシアに勝利した場合のウクライナの長期的な再建計画に疑問を抱いており、それ自体が保証されていると報じた。

再編により、ウクライナは戦争終結時に金融市場に復帰でき、同盟国は債務を免除されるが、それがいつ実現するかについては不確実性があると同紙は付け加えた。

「ウクライナが 7 月末にデフォルト(債務不履行)に陥る可能性は低い」と、投資分析を行う BCA リサーチの BCA アクセス責任者、マルコ・パピック氏はニュースウィーク誌に語った。「たとえ公式のデフォルトが、キエフのソブリン債務を再構築するための有用な演習となり得るとしても、それは西側諸国の面目を失うことになるだろう」

しかし、米大統領選を控え、キエフへの援助削減を望むドナルド・トランプ氏がジョー・バイデン氏を破る可能性が出てきたことから、「ワシントン D.C.が IMF などの国際機関や民間の債券保有者に圧力をかける可能性が高い」と述べた。

ウクライナ財務省は、再編、特に部分的な債務帳消しについて、ユーロ債保有者と交渉を続けると、ウクライナ・プラウダ紙が報じた。

ブラックロック BLK やピムコなどの外国債券保有者のコンソーシアムは、ウクライナに来年、債務の利払いを再開するよう促すと付け加えた。

フィナンシャル・タイムズ紙は先月、ウクライナにとってのもう一つの選択肢は「市場の期待に見合った」債券保有者からの40%削減を求めることだと報じた。

「ウクライナのデフォルトは、最終的には避けられないかもしれない」とパピックは述べた。「国の債務を秩序ある形で再編することが、おそらく正しい道筋だ」

「しかし、文字通りの戦争であると同時に、ロシアに対するPRの最前線でもある戦争の真っ只中にあって、債務不履行は、紛争を引き受け続ける西側有権者の意欲を消耗させるだろう」。



<https://www.newsweek.com/ukraine-imf-default-days-1920018>